

(1) 地震発生

み まも
身を守る

ひ しまつ
火の始末

まず自分の身の安全を確保する

- ・ タンスや棚から離れて、頑丈な机やベッドの下などに身を伏せ、揺れがやむのを待ちます。

家族の安全を確認する

- ・ お互いに声を掛け合って安全を確認します。どんな大地震でも、激しい揺れは1分程度でおさまります。



次に、火の始末をする

- ・ 揺れている最中に無理して火を消そうとするとやけどをするので、揺れがおさまるのを待ちます。避難する時は電気を切る
- ・ 停電で一旦切れているものが復旧により通電し、火災の原因となります。



火を消す2度のチャンス

- 1 揺れがおさまったとき
まず身の安全を確保してから。
- 2 出火したとき
出火しても1～2分以内なら消火が容易です。

ガスメーターは強い揺れを感知すると自動的にガスを遮断するマイコンメーターにしましょう。



でぐち かくほ
出口の確保

ひ なん
避 難
きゅう しゅつ
救 出

ドアを開けて出口を確保しておく

- ・風呂場やトイレなど狭い場所は比較的ですが、ドア枠がゆがまないうちにドアを開けて出口を確保します。

十分注意して逃げる

- ・ガラスの破片が散らばったり、家具が倒れたりして危険です。戸締まりと火の用心に注意して避難する
- ・家を出るときは、ガスの元栓もとせんを閉め、戸締まりをし、階段で避難ひなんします。
- 地域で助け合いましょう
- ・二次災害に気を付けながら、隣近所や地域で助け合って救出を行う。

